

人口の動き

11月末現在

人口	6,862 (-5)
男	3,346 (-5)
女	3,516 (0)
世帯数	1,555 (-6)
()	内は前月比

広報かわぐち

No.42
1月号

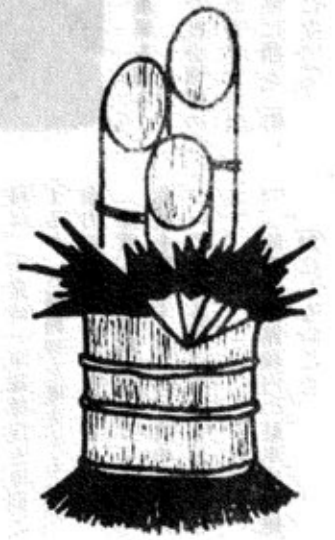
発行人 川口町公民館長
保科 清
編集人 広井 幸雄



あけまして
おめでと
うござい
ます

一年の計は
元旦にあり

みんな元気で
よい年で
ありますように



『川口町青年団かわら版』 川口町青年団

私たち青年団が「青年団かわら版」として広報かわぐちに事業内容や青年活動の紹介をさせてもらってから今回で三回目となります。今回は十二月分の事業報告と昭和五十二年一月分の活動予定を載せてみたいと思います。

まず十二月十九日の青年団の年間事業の中で五月の「泥かぶら」公演以来、最も大規模で若者らしさを発揮した青年団主催のクリスマスパーティーが開催されました。福祉センターを会場として午後三時から七時まで、ムード満点のキャンドルサービスに始まり、レクリエーションダンス、社交ダンス、ゲーム、プレゼント交換と百名あまりの川口町中の若者が、精いっぱい若いエネルギーを解放させ、盛大なうちに別れの曲とともに、なごりおしくパーティーの幕を閉じました。

これから冬に向かって青年活動も寒さと雪のために、おつくうになりがちですが、青年団としては一月に新年会を兼ねた「新年を語る会」そして「青年のつどい」と冬に負けない青年団活動を展開して、より一層川口町中の青年男女が一人でも多く、ともすれば一瞬のうちに過ぎてしまいがちな青年期に、少しでも張りがあり希望のある一日一日をおくれるようにと

◎ガス税が 安くなります

現行税法では、町のガス使用料金四千円(71㎡)以上の金額には3%のガス税が加算されて徴収されております。

このガス税が昭和五十二年一月一日から2%と改正になりました。日常欠くことのできないガスであり、節約に心しながらも高額になるガス料金です。新年からの減税をお知らせいたします。

「安全使用に充分ご注意ください」
(企業課)

『歳末たすけあい募金』 ご協力に感謝いたします

歳末たすけあい募金にみなさんの暖かい善意をいただき、予定どおり目標額に達成しましたことをここに感謝申し上げます。

これら善意のお金は、十二月十五日から二十日までの間、老人ホームなど施設入園者、病院など長期入院者、在宅療養者など二五〇人の方々に歳末見舞金として贈りました。

季節の話題 おもち

もちが日本人にいつごろから食べられるようになったのか、はっきりしたことはわからないようですが、円満を象徴する望月の望との説があります。

また、古代の鏡になぞらえて、「かみもち」というのも共に丸く収まる願いがこめられているようです。

ですから、お祝いごとや儀式に用いるもちは今日のお供えもちのように丸くこね上げたものが正式ということですし、のしもちを焼いてふくらませるのも角をとって丸くする意味がこめられているといわれます。

のしもちとは、室町時代に皇室の勢力が衰えた時、倭約する意味で作られたといわれています。

三月のひなまつりに用いる菱もちも、もともとは正月用のもので菱花びらと名づけられておりました。

このように、もちの形が地方でいろいろ変わっていたり、また湯に通したり焼いたりするものもひとつひとつ古くからのしきたりに従っていることがわかります。

※表紙の写真について
先人の貴重な民族資料を後世に伝える重要性から、お願いをしして再現していただいたものです。ありがとうございます。

年頭のごあいさつ

川口町長 星野輝政



町民のみなさん、明けましておめでとございます。昨年は、町政に対し一方ならぬ協力を賜わりました。誠に有り難うございました。心から厚くお礼を申し上げます。

輝やかなし新春を迎えて、町民のみなさんには、それぞれあらたな目標に向かって決意をあらたにされることと思いますが、私もまた、七十年代の七年目にあたり、思いをあらたにして町政の発展に全力を傾けてまいりたいと考えております。

かえりみますと昨年は、景気の低迷と物価高という経済環境に加えて、低温寒照の極めて不順な天候にみまわれるなど、実に多事多

難の年でありましたが、みなさんの懸命なご努力によりまして、各分野において予期以上の成果をおさめることができました。

さて、戦後四半世紀にわたって高度成長を遂げてまいりました日本の経済は、対外的には資源エネルギーの輸入制約、また、国内的には土地、水、環境といった国土資源との調和を保つことが必要のため、低成長への移行を余儀なくされ、しかもその先行きは、寸時の樂觀も許さない状況下におかれ、新しい年における町の行政は、昨年も増して一層厳し

しかしながら、益々複雑多用途している町民みなさんの行政需要を的確に把握し、心身ともに健康で安全快適に暮らせる豊かな福祉町を築きあげることが、私に課せられた責務であります。従いまして私は、町の立地条件と将来の展望に立って、これまで進めてまいりました調和と均衡のとれた行政運営を基調として、諸般の情勢を十分見極めながら時代の流れに対応すべく、先ず、生活関連道路のきめこまかい整備改良、効率的な農業経営の推進並びに商工業の着実な振興を主軸に、治山治水、へき地蒙窮対策をはじめ、ガス水道のより円滑な供給、あるいは自然の

効率的な活用、そして恵まれない方々や、高齢者及び幼児にかかる福祉の増進、更に、自然と文化のかけをそなえ、豊かな人間性を育む教育文化の振興と、町発展の原動力であります青年婦人団体の育成強化などに、清新の意気をもって、渾身の努力をいたしてまいり所存であります。

ここに、新しい年を迎え、所信の一端を申し述べ、町民みなさんのご理解とご協力をお願いいたしますとともに、町政の無限の発展を念願し、あわせて各位のご健康とおしあわせを心からお祈り申し上げます。私の年頭のごあいさつといたします。

の幕あけ づくりに総意を

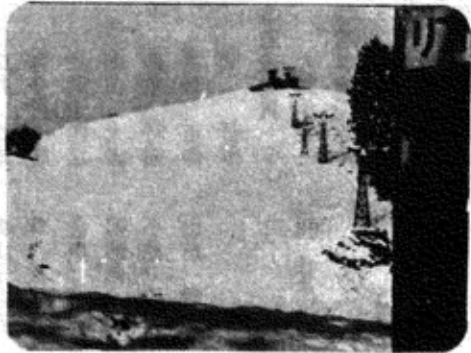
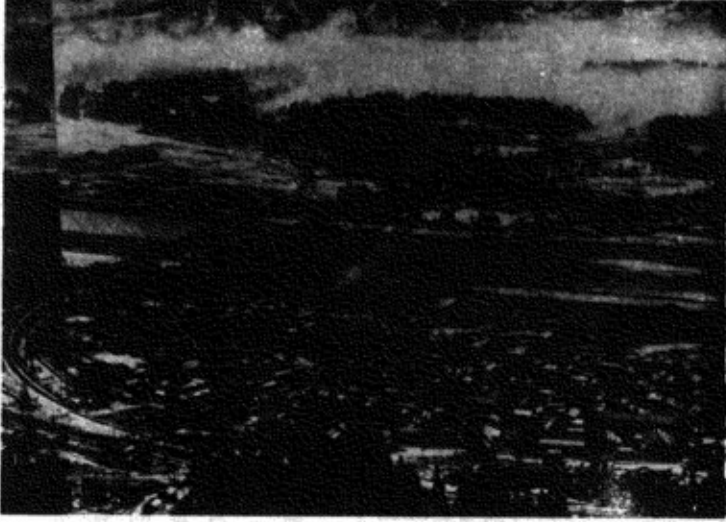


川口中学校がはじめてお正月 念願かなって昨年四月開校。恵まれた環境で町の将来を嘱望される子どもたちが、ことしも目を輝かせて活躍する。

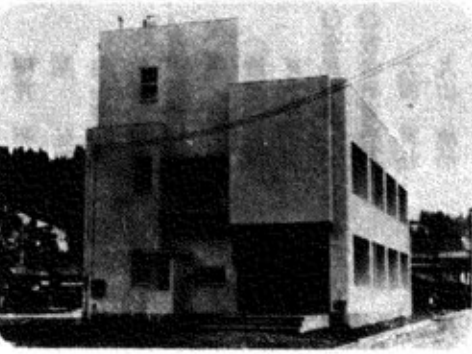


若い青年あすの農業を語る 激動する世界的な社会情勢の中で、若さに溢れた青年たちは町の農業問題を真剣に語る。町民の大きな期待をになつて。

1977年 明るく豊かな町



五才を迎えた川口スキー場 開場して五年。昨年のお正月は雪が少なかったがことしはとうとう。みんなでスキーを愛好し、雪を活用したいもの。



近代的な商工会館誕生 旧川口中学校跡に新しく商工会館が完成。町の商工業の発展を一手になう役割は非常に大きいものがある。

年頭にあたって

議会議長 上村正雄



輝ける昭和五十二年の新春を迎え、身も心も一層引締まる思いを感ずる次第でございます。町民の皆様には益々健康で幸せな新春を迎えられ、喜びに懐かま

せん。 昨年は、待望久しかった統合中学校の竣工式を挙行いたしました。次代をになう中学生が立派な学び舎で、心身ともに健康で健全な修業が出来ますことは、議会人として最も喜びとするところであります。中学生の皆さんが美しい立派な伝統の礎を築かれるよう強く期待するものであります。 また昨年は、特に町道、農道、

林道の開削、改良、舗装工事等が積極的に遂行され、環境等の整備が着々と進められるとともに、中学校跡地の利用計画等については町民各位の貴重なご意見をひろって、町民広場をはじめとし、長岡土地開発公社の川口事業所として宅地造成を計画し、先に公募、分譲致した次第ですが、新しい時代への大きなステップになるのではなからうかと思っております。

また、新しく建設されます関越高速自動車道も、長岡・小出間が昭和五十八年度完成を目前にいま着々とその計画がなされておりますが、特に西倉、上ノ原地内に建設予定のインターチェンジ、上下

- 一、除雪計画路線内の駐車は、絶対にしてはならないこと。
 - 二、車庫に自動車を格納の際は、自動車の前部又は後部を道路側へ出しておかないこと。
 - 三、屋根の雪を道路内におろした場合は、必ず後始末をし、交通の確保に努められたること。
 - 四、除雪作業中は、除雪車に近寄らないこと。
 - 五、除雪により農地等に入った砂利は、関係受益者により処理をされたいこと。
 - 六、危険箇所には赤旗等の標識を設置されたいこと。
 - 七、除雪、圧雪路線の接続点の雪ならしをされたいこと。
 - 八、除雪計画で変更された路線は次のとおりです。
 - 九、町道関係
 - 西川口三号線、小西熊治郎前までに増。
 - 西川口中通線、岡村勇前までに増。
 - 中新田線、関寛司前までに増。
 - 岩出原一号线、消火栓まで増。
 - 相川寺前線、全線に増。
 - 大形田中大谷内線、桜井寅吉前までA種に変更。
 - 大道線、中山線、全区間をA種に変更。
- 以上のほかは、昨年と変更ありません。

若人の熱気溢れた 青年大会

十一月二十一日、町青年団と公民館では第一回青年大会を福祉センターで行ないました。あいにくの雨ながら三十余名の参加者を得て、熱心な討議が行なわれました。町長、教育長の祝辞のあと、各々の分野での青年活動の報告がありました。

- 一、海外派遣報告 阿部吉光
 - 二、スポーツ活動 広井淳一
 - 三、青年団 桜井健一
 - 四、地域青年会 石坂良一
 - 五、青年学級 星野道夫
 - 六、商工青年 関 照栄
 - 七、農業青年 川上清一
- 各発表者とも各々のもつ悩みや課題などを出し合い、素晴らしい内容でした。質疑応答なども活発でしたが、大会の決議として次の四つを申し合わせました。
- 一、青年活動をみんなで推進しよう。
 - 二、農業の振興をすすめよう。
 - 三、若者の安心して働ける職場の誘致を。
 - 四、スポーツ施設の充実を。
- 午後からはもちつき大会とゲームで楽しい一日を過ごしました。来年こそはもっと充実した、広範にわたる若者から参加して欲しいものだと思います。

町民総ぐるみで飲酒運転の追放を

県内における死亡事故は、一七％と減少しております。ところが飲酒運転による死亡事故は逆に七・四％増加しております。飲酒運転は、昔からの飲酒の風習と車の社会のひずみから原因と考えられます。このひずみをなくすることが即飲酒運転の防止につながります。運転者の交通マナーのバロメーターが飲酒運転といわれる程です。飲酒運転の防止は、運転者の自覚だけでは不十分です。家庭では家族の人々、職場では職員といった周囲の人々の理解と協力がなければ達成されません。部、町内会などの小グループごとに飲酒運転追放の宣言、申し合せを自主的に行い、家庭、職場、地域から飲酒運転をなくす総ぐるみ運動を展開しましょう。

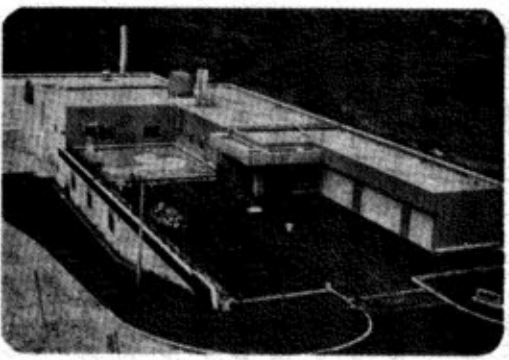
冬の交通事故防止運動実施中

期間 51年12月11日から52年1月10日まで
重点 ①飲酒運転の防止 ②スリップ事故の防止 ③夜間事故の防止 ④踏切事故の防止
川口町交通安全協会 川口町役場企画課

謹んで新年のお祝いを申し上げます

- 町長 星野 輝政
- 副町長 岡村 賢吾
- 収入役 桜井 仁夫
- 議員 上村 正雄
- 副議員 江島 啓
- 青柳 弘 小林 広吉
- 山崎 良治 上村喜平治
- 小見 昇司 古田島正則
- 綱 直太郎
- 教育委員 丸山 省三 関 誠一郎
- 桜井 利男 星野 一弥
- 教育長 古田島 正
- 農業委員 星野 誠一 小見 芳雄
- 廣井 松雄 森山子之吉
- 喜多村 勝 綱 直太郎
- 浅間 十四三 山田 彦作
- 森山 太吉 阿部熊次郎
- 鈴木 時起 小林 清吉
- 星野 正作 山田 政一
- 関 新作
- 監査委員 大淵 寅松 関 登代一
- 選挙管理委員 大淵 有澄 横 道隆
- 森山 平八 堀沢 政栄
- 固定資産評価審査委員 佐次 晋 大淵 政次
- 上村 一夫
- 民生委員 喜多村喜市 村山 道龍
- 山吉 玄蕃 中林 友次
- 松村 昭次 関 夏代
- 久島 芳樹 小宮山豊次
- 山田 米三 阿部 幸吉
- 横 好子 星野 房吉
- 大淵 広吉 水落 トク
- 石坂キクエ
- 国民健康保険運営審議委員 小見 昇司 山吉 玄蕃
- 廣井 松雄 上村 一夫
- 桜井 利男 阿部 長吉
- 関 弘藏 松川弁一郎
- 内山徳四郎 栗原 稔
- 佐藤 靖邦
- 共済損害評価委員 関 弘藏 広井新太郎
- 渡辺 徳雄 涌井 勲
- 喜多村栄彦
- 公民館長 大淵 寅松 小西登久二
- 社会教育委員 丸山 池治 綱 富兵
- 内藤 フミ 丸山 正
- 保科 清
- 学校長 泉水小学校長 滝沢 久平
- 川口小学校長 依山 精治
- 田山小学校長 樋口 保富
- 木沢小学校長 三本 毅一
- 福祉事業(一) 星野数雄氏(十万円)
- 八王子市在住(岩出原出身)
- 網 久松氏(四万円)川口五
- 三輪喜八氏(二万円)川口五
- 施設慰問(一) 河上 明氏(魚沼学園へ)
- スリッパ三十足)川口一
- 文化財調査審議委員 中林 宗衛 山吉 玄蕃
- 中林 稔 星野 高慶
- 丸山 池治 古田島慎市
- 久島 芳樹 大淵 継嗣
- 星野 武夫 保科 清
- 川口中学校長 丸山 正
- 公民館地区館長 喜多村 隆 古田島莊平
- 金山 昭英 山田 英夫
- 丸山 聖浄 阿部 浩衛
- 小林三千三 大淵 継嗣

現代科学の粋を集めて 衛生センター 「清流園」完成



小千谷市、川口町衛生組合で建設中のし尿処理場が完成し、十一月二十四日竣工式が行なわれました。なお、施設の名称を公募集し、「清流園」と決定されました。施設のあらまし

「甲種」ガス主任技術者国家試験に合格

昭和五十一年度ガス主任技術者国家試験の結果が官報で公表されました。この試験に、企業課施設係長古田島正作さんが受験し、きびしい難関を突破し見事に合格いたしました。

- (一)建設場所 川口町大字牛ヶ島 一、九一七番地
 - (二)敷地面積 五、九九九㎡
 - (三)建物面積 二、三六四㎡
 - (四)事業費 七億五千万円
- ### 昭和五十一年度優良無事故運転者の表彰 上申手続き等のお知らせ
- 県交通安全協会が毎年行う、無事故、無処分の模範運転者の表彰が次の要領で実施されますので、表彰に該当のある方は、各部落の川口町安協支部長に申し出て、用紙をもらい各自で所要事項を記入捺印のうえ申請して下さい。
- 1 表彰者の資格
 - (1) 運転免許を取得してから昭和五十一年十二月三十一日現在で七年、十五年、二十五年、三十年の表彰年限に達していること。
 - (2) 会員であって継続運転していること。
 - (3) 表彰年限期間中無事故であり、交通違反などで行政処分を受けていないこと。
 - 2 表彰の種類
 - (1) 連名表彰 普通免許以上の所有者で、十五年、二十五年、三十年の運転経歴のある者に、県警本部長、県安協会長の連名で表彰するもの。
 - (2) 単名表彰 普通免許以上の所有者で七年以上の運転経歴のある者又は、自二、小特原付、軽免許(審査未済のもの)で七年、十五年、二十五年、三十年の運転経歴のあるものに県安協会長名で表彰するもの。
 - 3 上申書の記載上の留意点
 - (1) 交通事故や処分の記入は必ず行い支部長から免許証の備考欄と照合確認をしてもらってください。
 - (2) 表彰の年数計算は、交通事故や違反により行政処分を受けた場合は表彰年限がそこで中断し、処分の終わった翌日から起算して表彰年限を計算します。
 - (3) 自認書は、表彰年限の期間中無事故、無処分であること自ら確認していただくものですから必ず本人が署名捺印すること。
 - 4 申請の受付期間

昭和五十一年一月五日から一月二十五日の間役場企画課又は各支部長に提出して下さい。その他詳しいことは、小千谷交通安全センター(電話〇二五八八―二一七七〇)又は、役場企画課交通対策係にお問合せ下さい。

〈シリーズ〉(五) 私たちの生活と税金について

土地・建物などを売ったとき「土地を売ったけど、税金はどのくらいかかるのだろう」とこんな質問がよく聞かれます。土地、建物などを売った時の税金は、その資産を買った時期や、何に使っていたか、そして何のために売ったのかによって税金の計算方法や税率がちがいます。先ず買った時期のことですが、昭和四十三年十二月三十一日以前から持っていた場合を長期、四十四年一月一日以降に買った場合を短期として区分します。次に売渡した金額と、買った時に支払った金額と、売るためにかった経費を差し引いたものが、「譲渡所得」です。そして長期の場合については譲渡所得から百万円の特別控除を引き、残りが課税対象となりますが、短期には特別控除はありません。税率は、長期の場合課税対象になる譲渡所得が二千万円までは二十パーセント、二千万円を超えるものは特別な方法で計算され、税率も高くなります。短期は長期よりも税率も高く、四十パーセント以上になります。また自分が住んでいる土地や建物などを売ったときは、申告の手続きをすることによって三千万円の特別控除が受けられます。そのほか公共事業のために買い取られたような特殊な譲

渡については、特別控除も三千万円、二千万円、一千五百万円、五百万円といろいろあります。以上のように土地や建物などを売ったときは、ケースによって税金も異なってきます。

まだ働けると思っている、サラリーマンならいつかは「退職」の日がやってきます。そのとき、支給されるのが退職金ですが、そこで気になるのが税金のことです。退職金は長い間働いて手にするもので、退職後の生活のために大切なものです。そのため退職金に対する所得税は、ほかの所得よりは軽い負担ですむようになっています。計算方法は、先ず、その手元で支払を受けた退職金から、勤めた年数に応じた退職所得控除を差し、残額の二分の一が退職所得となり、これに所得税の税率をかけて算出します。

たとえば、三十年勤続の場合は一千万円まで、三十五年勤続の場合一千二百五十万円まで税金はかかりません。ただし、退職手当の支払いを受けようとする人は「退職所得の受給に関する申告書」を提出しなければなりません。詳しいことは税務署・税務相談室でどうぞ。

善意の人

- 川口中学校長 丸山 正
- 公民館地区館長 喜多村 隆 古田島莊平
- 金山 昭英 山田 英夫
- 丸山 聖浄 阿部 浩衛
- 小林三千三 大淵 継嗣
- 中林 宗衛 山吉 玄蕃
- 中林 稔 星野 高慶
- 丸山 池治 古田島慎市
- 久島 芳樹 大淵 継嗣
- 星野 武夫 保科 清
- 〈福祉事業(一)〉 星野数雄氏(十万円)
- 八王子市在住(岩出原出身)
- 網 久松氏(四万円)川口五
- 三輪喜八氏(二万円)川口五
- 〈施設慰問(一)〉 河上 明氏(魚沼学園へ)
- スリッパ三十足)川口一

